

# JIS

## 真空ガラス

JIS R 3225 : 2022

令和 4 年 1 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	植 木 暁 司	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	興 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式 会社)
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	福 田 孝 晴	一般社団法人日本建設業連合会 (鹿島建設株式会社)
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	真 野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	吉 田 可保里	T&T パートナーズ法律事務所

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 4.1.20

官 報 掲 載 日：令和 4.1.20

原案作成協力者：板硝子協会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1-3-13 NBF 高輪ビル TEL 03-6450-3926)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び種類の記号	3
5 構造	3
6 品質	4
6.1 外観	4
6.2 減圧の状態	4
6.3 断熱性	4
6.4 日射取得性	5
6.5 耐候性	5
7 形状、寸法及び許容差	5
7.1 形状	5
7.2 寸法及びその許容差	5
8 材料	7
8.1 材料板ガラス	7
8.2 ピラー	7
8.3 エッジシール	7
8.4 真空排気ポート	7
8.5 ゲッター	7
9 試験	7
9.1 供試体	7
9.2 外観試験	8
9.3 減圧度試験	8
9.4 断熱性試験	10
9.5 日射取得性の算定	12
9.6 耐候性試験	12
9.7 寸法測定	14
10 検査	15
11 包装	17
12 表示	17
附属書 A (規定) 熱貫流率の測定方法—熱流計法及び保護熱板法	18
附属書 B (参考) 真空ガラスの熱貫流率の測定に及ぼすエッジシールの影響	23
附属書 C (参考) 真空ガラスの熱貫流率の測定に及ぼすピラー配列の影響	28

	ページ
附属書 JA (規定) 耐候性の加速試験方法 (試験方法 3) .....	33
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表 .....	38
解 説 .....	43

## まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

## 真空ガラス

## Vacuum insulating glass

## 序文

この規格は、2018年に第1版として発行されたISO 19916-1を基とし、我が国の市場の実態に整合させるため、技術的内容を一部変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、**附属書 JA** は、対応国際規格にはない事項である。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

## 1 適用範囲

この規格は、主に建築物に使用する真空ガラスについて規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 19916-1:2018**, Glass in building—Vacuum insulating glass—Part 1: Basic specification of products and evaluation methods for thermal and sound insulating performance (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS A 1412-1** 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第1部：保護熱板法（GHP法）

**注記** 対応国際規格における引用規格：**ISO 8302**, Thermal insulation—Determination of steady-state thermal resistance and related properties—Guarded hot plate apparatus

**JIS A 1412-2** 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第2部：熱流計法（HFM法）

**注記** 対応国際規格における引用規格：**ISO 8301**, Thermal insulation—Determination of steady-state thermal resistance and related properties—Heat flow meter apparatus

**JIS B 7502** マイクロメータ

**JIS B 7512** 鋼製巻尺

**JIS B 7516** 金属製直尺

**JIS C 1602** 熱電対

**JIS R 3106** 板ガラスの透過率・反射率・放射率の試験方法及び建築用板ガラスの日射熱取得率の算定方法